

日EU・EPAにおける品目ごとの農林水産物への影響について(総括表)配付資料6

1. 品目ごとの農林水産物の影響(合計28品目)

影響		品目例	対応方向等
1	特段の影響は見込み難い	小豆	・ <u>更なる競争力の強化が必要。</u>
		茶	・ <u>更なる競争力の強化が必要。</u>
		ほたてがい	・ <u>更なる競争力の強化が必要。</u>
ほか11品目(大麦、いんげん、落花生、パイナップル、こんにゃくも、鶏肉、まいわし、まだら、するめいか・あかいか・やりいか、さけ・ます類、うなぎ)			
2	影響は限定的と見込まれる	オレンジ	・ 長期的には、 <u>国産うんしゅうみかん及び果汁の価格の下落も懸念されることから、これまでの実績の検証等を踏まえた所要の見直しを行った上で、生産性向上等の体質強化対策を実施することが必要。</u>
		鶏卵	・ 長期的には、 <u>国産鶏卵の価格の下落も懸念されることから、これまでの実績の検証等を踏まえた所要の見直しを行った上で、生産性向上等の体質強化対策を実施することが必要。</u>
		あじ	・ 長期的には、 <u>国産価格の下落も懸念されることから、これまでの実績の検証等を踏まえた所要の見直しを行った上で、生産性向上等の体質強化対策を実施することが必要。</u>
ほか4品目(りんご、トマト加工品、さば、かつお・まぐろ類)			
3	小麦の輸入の増大は見込み難いが、小麦製品の輸入増大の懸念	小麦	・ パスタ・菓子等のEU産小麦製品の輸入増大や価格低下が生ずることも懸念されることから、 <u>国境措置の整合性確保及び国産原料作物の安定供給の観点から必要な措置を講ずるとともに、更なる競争力の強化が必要。</u>
	てん菜、さとうきびの生産に特段の影響は見込み難いが、加糖調製品の輸入増大の懸念	砂糖	・ <u>安価な加糖調製品の輸入増大により、糖価調整制度の安定運営に支障が生ずることも懸念されることから、経営安定対策について、TPPの状況等も踏まえて必要な検討を加えるとともに、更なる競争力の強化が必要。</u>
	国産いもでん粉への影響は限定的と見込まれるが、長期的には、国産ばれいしょでん粉の価格低下の懸念	でん粉	・ 国産いもでん粉への影響は限定的と見込まれるが、長期的には、 <u>国産ばれいしょでん粉の価格低下も懸念されることから、これまでの実績の検証等を踏まえた所要の見直しを行った上で、生産性向上等の体質強化対策を実施することが必要。</u>

影響		品目例	対応方向等
4	当面、輸入の急増は見込み難いが、長期的には、関税引下げの影響の懸念	牛肉	<ul style="list-style-type: none"> 長期的には、輸入牛肉と競合する乳用種を中心に国内産牛肉全体の価格の下落も懸念される。このため、国内の肉用牛生産について、生産コストの削減や品質向上など国産の優位性の確保等の体質強化対策を、これまでの実績の検証等を踏まえた所要の見直しを行った上で実施することに加え、経営安定対策について、TPPの状況等も踏まえて必要な検討を加えることが必要。
		豚肉	<ul style="list-style-type: none"> 長期的には、従量税の引下げに伴って、低価格部位の一部がコンビネーションによらず輸入される可能性が否定できず、国内産豚肉の価格の下落も懸念される。このため、国内の養豚について、生産コストの削減や品質向上など国産の優位性の確保等の体質強化対策を、これまでの実績の検証等を踏まえた所要の見直しを行った上で実施することに加え、経営安定対策についてTPPの状況等も踏まえて必要な検討を加えることが必要。
		牛乳乳製品	<ul style="list-style-type: none"> 長期的には、競合する国産の脱脂粉乳・チーズの価格下落等が生じることにより、加工原料乳価の下落も懸念される。このため、これまでの実績の検証等を踏まえた所要の見直しを行った上で体質強化対策を実施することに加え、日本産のチーズ等の競争力を高めるため、原料面で原料乳の低コスト・高品質化の取組の強化、製造面でコストの低減と品質向上・ブランド化等を推進するとともに、経営安定対策について、TPPの状況等も踏まえ必要な検討を加えることが必要。
		構造用集成材等	<ul style="list-style-type: none"> 長期的には、関税引下げの影響が懸念されることから、これまでの実績の検証等を踏まえた所要の見直しを行った上で川上から川下に至る総合的な体質強化等の対策の検討が必要。

※ 米、のり、こんぶ、わかめ・ひじきといった、関税削減・撤廃等からの除外を獲得した品目については、分析対象とはしていない。

2. 日本産農林水産物・食品の輸出(重点品目:8品目)

影響	品目例	対応方向等
今後の輸出拡大を期待	重点品目 (水産物(ほたて貝、ぶり)、牛肉、調味料、日本特有の食材(ゆず等)、コメ、緑茶、アルコール飲料、花き)	<ul style="list-style-type: none"> 外食向け需要を中心に今後の輸出拡大を期待。 輸出環境課題の解決に向けた取組を加速化し、更なる輸出拡大を図る。